

2023年5月15日

**60代女性の7割が  
 生命保険に加入！**

だけど**6割は保障内容を理解していない!?**  
 『素敵なあの人』が60代女性の**「保険事情」**を大調査

**60代女性が社会人になった当時は、保険に入るのが当たり前だった！**

**保険は必要と思いつつ・・・「種類が多くてわからない」「保障内容を理解するのが難しい」などお悩みも続々！**

ファッション雑誌販売部数トップシェア(※)の株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)が発行する『素敵なあの人』は、60代女性の「保険事情」について読者アンケートを実施しました。

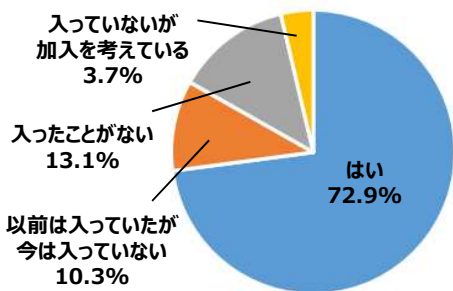
『素敵なあの人』は、2019年9月に月刊創刊した日本初となる60代女性向けファッション誌です。これまでに40～60代など幅広い世代をターゲットにした健康情報誌などはありませんでしたが、60代向けファッションに特化した雑誌は本誌が初めてです。

今回の調査によると60代女性の72.9%が生命保険に加入しており、加入したきっかけの1位は「当時は社会人になったら保険に入るのが当たり前だった」という結果に。加入している人に保障内容を理解しているか質問したところ、6割の人が理解していないことがわかりました。また、3割の人が保険を見直したいと回答していますが、生命保険選びは「種類が多くてよくわからない」(49.1%)、「保障内容を理解するのが難しい」(46.3%)、「必要保障額がわからない」(22.2%)とお悩みの声もたくさん挙がりました。

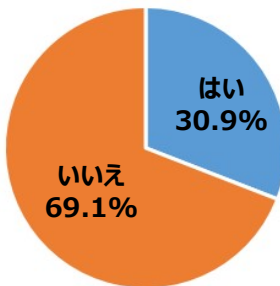
『素敵なあの人』は今後も、60代の女性にとって最適なアイテムや本当に必要な情報を、わかりやすく丁寧に発信することでお悩みを解決し、新しい60代女性がいいきいと過ごせる社会に向けて、その一翼を担えるよう尽力してまいります。

※日本ABC協会 雑誌発行社レポート2022年上半期(1～6月)より

**生命保険に入っていますか？**



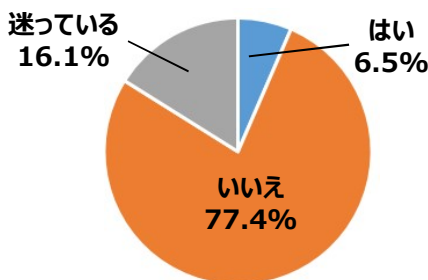
**生命保険に入っている方、  
 内容を見直したいですか？**



**理由は？**

- ・60歳になり再度入ったけど、死亡保険がついていないようなので
- ・癌が心配
- ・ライフスタイルの変化とリンクしていない(多数!)
- ・入りっぱなしになっているので(多数!)
- ・内容を充実させたい
- ・若い頃とは違った不調や不安がある
- ・入院手術の保障は80歳までになっているので、それ以降のことを考えたい

**生命保険に入っていない方、  
 加入は考えていますか？**



**生命保険に入っている方、  
 どんな種類の  
 保険に入っていますか？**

- 1位 生命保険(終身)
- 2位 個人年金保険
- 3位 生命保険(定期)
- 4位 養老保険
- 5位 学資保険

**わからない人も多数！**

**【調査概要】**

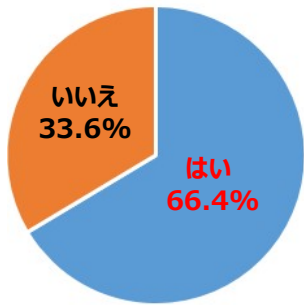
- ・調査期間: 2023/3/16～2023/4/19
- ・調査機関: 宝島社『素敵なあの人』
- ・調査対象: 60代女性
- ・有効回答数: 108名
- ・調査方法: WEBアンケート



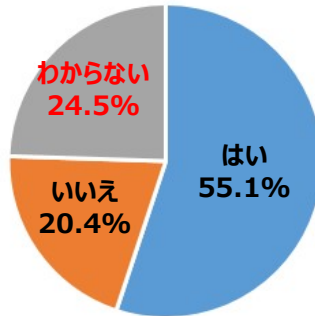
『素敵なあの人』6月号  
 発売日: 2023年5月16日  
 特別価格: 1320円(税込)

# 『素敵なおの人』が60代女性の「保険事情」を大調査！

保険を見直したことがありますか？



保険を見直して得をしましたか？



生命保険に加入したきっかけを教えてください

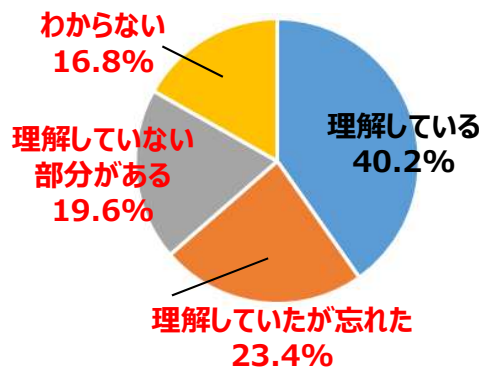
- 1位 当時は社会人になったら保険に入るのが当たり前だった
- 2位 保険屋さんにおすすめされて
- 3位 知り合いのすすめ
- 4位 結婚したときに入った
- 5位 母親のすすめ

入るのが当たり前だと思っていた人が多数！！

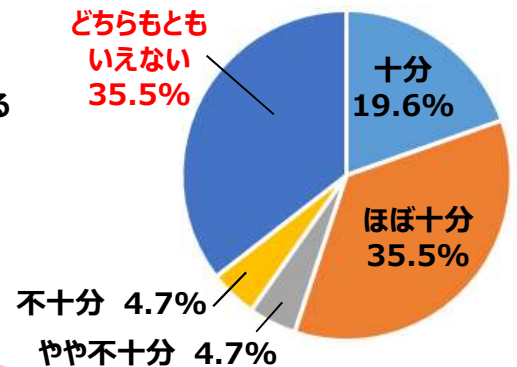
生命保険に加入している目的を教えてください

- 1位 病気やケガなど医療費に備えて
- 2位 万一の時に家族の生活保障のため
- 3位 老後の生活資金の準備
- 4位 貯蓄目的
- 5位 介護費用の準備
- 6位 子どもの教育資金

加入している生命保険の保障内容を理解していますか？



現在の保障内容で十分ですか？

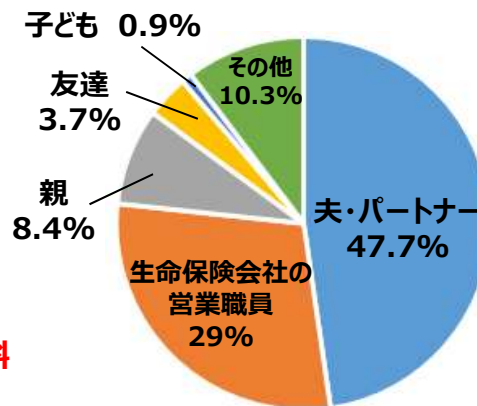


生命保険選びで大変だと思うことはなんですか？

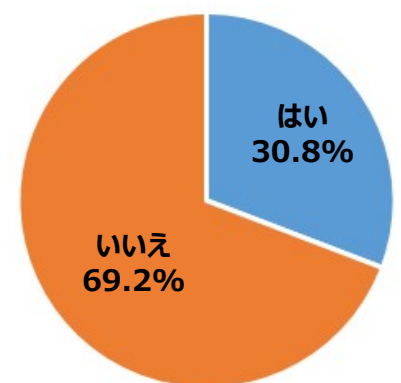
- 1位 種類が多くてよくわからない
- 2位 保障内容を理解するのが難しい
- 3位 必要保障額がわからない
- 3位 手続きが面倒
- 5位 今の年齢で入れるものがあるかわからない
- 6位 身近に相談できる人がいない

その他、年齢的に欲しい保障は保険料が高く払うのが大変という声も！

生命保険を選ぶ際に誰に相談しますか？



生命保険について詳しく知りたいですか？



生命保険情報について、何を知りたいですか？

- ・ライフスタイル（年齢）に合ったプラン（多数！）
- ・健康保険でカバーできない医療費について
- ・どれくらいの備えが必要か
- ・そもそも加入の意味があるか
- ・介護や認知症の保険について
- ・見直すタイミング
- ・人気のものや最新のプラン など

これから生命保険に加入する場合、どのような加入方法に興味がありますか？

- 1位 インターネット（約半数が興味アリ！）
- 2位 生命保険会社の営業担当を通して
- 3位 保険代理店の担当者を通して
- 4位 来店型の保険ショップ
- 5位 郵便局の窓口や営業担当を通して
- 6位 銀行・証券会社を通して



# 『素敵なあのひと』月刊創刊から3年… 令和の60代女性はさらに進化しています！

『素敵なあのひと』は、2019年9月に創刊した日本初となる60代以上の女性向けファッション誌です。令和の60代は従来のシニア像とはまったく異なり、若い頃からあらゆる文化に触れ、自由にファッションを楽しむ、お見合い結婚から恋愛結婚が主流となった世代。本誌は、そんな60代女性に最適なアイテムや情報を、わかりやすく丁寧に発信しています。「グレーヘア」「自然体」が人気要素で、誌面の5割をファッションで占めています。また、定期的に読者アンケートを行い、お金やダイエット事情など「60代女性の実態」も調査。読者からは、「健康雑誌しかなかったので、自分たちのためのファッション誌ができてうれしい」「この雑誌のファッションはマネししやすいものばかり。参考にしてもう一度おしゃれを楽しみたい」という反響の声をいただき、月刊創刊から3年目を迎えました。

『素敵なあのひと』は一般の方が登場するページが多く、より身近にとらえやすいのも特徴です！

**「60代の街角スナップ」**  
令和の60代女性は、想像以上におしゃれ！

素敵な#インスタグラマーリーでは  
全国のおしゃれ60代を紹介中！

編集長も3つのサークルに所属！  
令和のおばサーに  
素敵な60代女性が集まる！



編み物サークルや陶芸サークル…  
自分の趣味や好きなもので  
繋がったお友達と活動を  
楽しんでいる60代が多数！  
本誌でも紹介しています♪



## 「新人類」と呼ばれる世代が60歳に！ 専門家に聞く「従来のシニア像とは異なる新しい60代とは!?」



人生100年時代  
未来ビジョン研究所  
所長 阪本節郎氏

■ **今までの60代と今の60代は大きく異なります**  
人生100年時代といわれる今、従来の「60歳からは人生の下り坂、老後を静かに過ごす」と考える人が少なくなってきました。学校・子育て・仕事などから卒業して本来の「自由」を手に入れた60歳という節目を、「新たな出発点」だと考える人が圧倒的に増加しています。しかし、まだ新しいニーズに対応した情報は少ないのが現状。「60代は静かに余生を過ごしたいもの」という古い価値観が世の中に溢れ、実際に求められている情報とはギャップが生まれています。

■ **「新人類」と呼ばれた世代が60代に突入！**  
これまでの60代は「ポスト団塊世代」と呼ばれていた世代でしたが、この3年で「新人類」と呼ばれる新しい世代（52～62歳）が、60代に突入してきました。この世代は、男女雇用機会均等法が施行された初期世代で、女性で総合職になる人が出てきた頃。バブルで若い頃に高級車や高級レストランを経験し、ジュリアナやボディコンも流行った時代で「楽しい消費が一番！」とする風潮も。

また、グッチやセリーヌ、クリスチャンディオールなどのブランド好きで、子どもの教育もブランド志向が強く、新人類の後半となるバブル世代は「貯蓄」よりも「消費」を優先する、日本で唯一の世代とも見られています。そんな「新人類」世代が60代に入り、誌面にも変化が現れるかもしれません。

### 従来のシニア像とは異なる令和の60代女性とは…

「ポスト団塊」世代	+	「新人類」世代
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビートルズ来日、ジーンズやミニスカートの流行</li> <li>● 『anan』『non-no』『JJ』が創刊され、若者文化を牽引</li> <li>● ニュートラ、ハマトラなどファッションの流行を生み出した</li> <li>● お見合い結婚 → 恋愛結婚が主流に</li> <li>● おしゃれの再燃期！ “第二の青春”を楽しむ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女雇用機会均等法が施行された初期世代。総合職に就く女性も登場</li> <li>● バブル期で若者が高級車・高級レストラン志向に</li> <li>● “ジュリアナ”、“ボディコン”が流行る</li> <li>● グッチやセリーヌなどのブランド志向が強い</li> <li>● 「貯蓄」よりも「消費」を優先する日本で唯一の世代</li> </ul>